

2018年 東京都のHIV感染者・AIDS患者の動向及び 検査・相談事業の実績



HIV感染者・AIDS患者の発生動向

- ・平成30年、東京都におけるHIV感染者とAIDS患者をあわせた新規報告数は422件（平成29年464件）であり、HIV感染者、AIDS患者の新規報告数はそれぞれ351件と71件であった。
- ・全国の報告数に占める東京都の割合は、HIV感染者が約37%、AIDS患者が約19%であった。
- ・国籍別及び性別では、HIV感染者とAIDS患者をあわせた新規報告数は、日本国籍男性が342件（81%）と最も多かった。外国籍男性は、前年より21件減少し62件（15%）であった。
- ・推定感染経路別では、HIV感染者の約90%、AIDS患者の約80%が性的接触であり、いずれにおいても同性間性的接触の占める割合が最も大きい。
- ・年齢階級別では、HIV感染者報告数は20歳代（35%）と30歳代（33%）が多く、AIDS患者報告数は40歳以上が約60%を占めた。
- ・推定感染地別では、HIV感染者とAIDS患者をあわせた新規報告数は、国内感染が349件（83%）であった。
- ・AIDS患者報告数のうち、ニューモシスティス肺炎の発症を契機に診断されたAIDS患者は47件（66%）と多かった。



相談・検査・療養体制

- ・平成30年、エイズ電話相談件数は、昨年より4,238件（約20%）増加した。
- ・「東京都HIV/エイズ電話相談」の相談者は、性別では女性、年齢では20歳代が最も多く、次いで30歳代が多い。相談内容は、感染不安や感染経路に関するものが多い。
- ・平成30年のHIV検査件数は、特別区保健所、多摩・島しょ地域保健所、東京都南新宿検査・相談室、東京都多摩地域検査・相談室ともに前年より増加した。また、特別区保健所、東京都多摩地域検査・相談室で、陽性件数、陽性率ともに、前年より増加した。
- ・免疫機能障害による身体障害者手帳の交付数は年々増加し、平成30年は、免疫機能障害による身体障害者手帳交付数は前年より446件（5.4%）増加した。

本「AIDS News Letter No.171（資料編）」は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づいて、東京都に平成30年に法定報告されたHIV感染者とAIDS患者の統計及び区・都の保健所等における相談・検査業務の実績をまとめ、分析したものである。

なお、HIV感染者・AIDS患者の報告数、相談件数、検査件数については、過去のデータを見直し、更新されている。

図表中では、平成をH、平成元年をH1、東京都南新宿検査・相談室を南新宿、東京都多摩地域検査・相談室を「多摩地域」と記載した。平成19年4月より八王子保健所は八王子市保健所、平成23年4月より町田保健所は町田市保健所となったが、経年比較をするため「多摩・島しょ地域保健所」に含めて計上している。また、特別区保健所、八王子市保健所及び町田市保健所を含む多摩・島しょ地域保健所を合わせて、「都内保健所」と表現した。東京都多摩地域検査・相談室については、平成25年度までは多摩・島しょ地域保健所に合算、平成26年度からは別掲とした。

また、「東京都エイズ電話相談」は、平成25年4月から「東京都HIV/エイズ電話相談」に名称変更している。

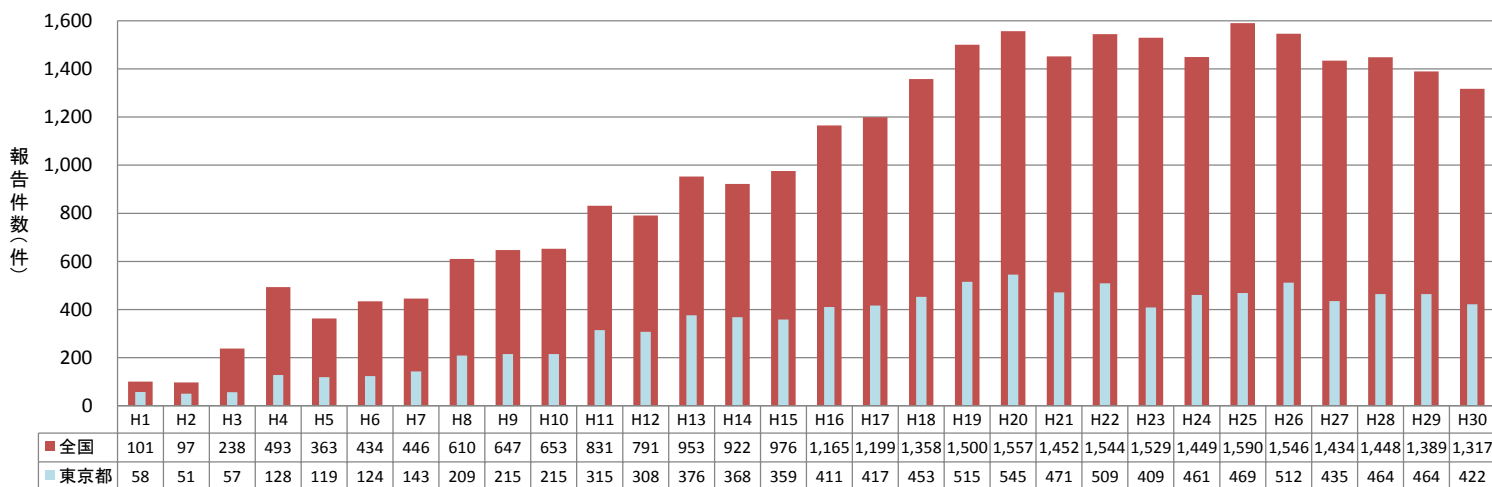
目 次

I HIV感染者及びAIDS患者の発生動向			
P.3	1-1	HIV感染者とAIDS患者の総計	東京都と全国の報告数年次推移
	1-2	HIV感染者とAIDS患者の総計	東京都の推定感染経路別報告数年次推移
	1-3	HIV感染者とAIDS患者の総計	東京都の推定感染地別報告数年次推移
P.4	1-4	HIV感染者とAIDS患者の総計	東京都の国籍別・性別報告数年次推移
	1-5	HIV感染者とAIDS患者	東京都のHIV感染者とAIDS患者報告数年次推移
	1-6	HIV感染者とAIDS患者	全国のHIV感染者とAIDS患者報告数年次推移
P.5	1-7	HIV感染者とAIDS患者	東京都以外のHIV感染者とAIDS患者報告数年次推移
	1-8	HIV感染者	全国に占める東京都のHIV感染者報告数割合年次推移
	1-9	HIV感染者	東京都のHIV感染者の国籍別・性別報告数年次推移
P.6	1-10	HIV感染者	東京都のHIV感染者の推定感染経路別報告数年次推移
	1-11	HIV感染者	東京都の日本国籍男性におけるHIV感染者の推定感染経路別報告数年次推移
	1-12	HIV感染者	東京都のHIV感染者の年齢別・推定感染経路別報告割合（平成30年）
P.7	1-13	HIV感染者	東京都のHIV感染者の年齢別報告数年次推移
	1-14	AIDS患者	全国に占める東京都のAIDS患者報告数割合年次推移
	1-15	AIDS患者	東京都のAIDS患者の国籍別・性別報告数年次推移
P.8	1-16	AIDS患者	東京都のAIDS患者の推定感染経路別報告数年次推移
	1-17	AIDS患者	東京都の日本国籍男性におけるAIDS患者の推定感染経路別報告数年次推移
	1-18	AIDS患者	東京都のAIDS患者の年齢別・推定感染経路別報告割合（平成30年）
P.9	1-19	AIDS患者	東京都のAIDS患者の年齢別報告数年次推移
	1-20	AIDS患者	東京都のAIDS指標疾患（平成30年）
II 相談・検査・療養体制			
P.10	2-1	HIV/エイズ電話相談	東京都のHIV/エイズ電話相談件数年次推移
	2-2	HIV/エイズ電話相談	「東京都HIV/エイズ電話相談」における相談者の性別（平成30年）
	2-3	HIV/エイズ電話相談	「東京都HIV/エイズ電話相談」における相談者の年齢（平成30年）
P.11	2-4	HIV/エイズ電話相談	「東京都HIV/エイズ電話相談」の相談内容（平成30年）
	2-5	HIV検査	東京都のHIV検査件数年次推移
P.12	2-6	HIV検査	東京都のHIV検査における陽性件数・陽性率年次推移
	2-7	医療機関	東京都のHIV感染者報告の届出別割合（平成22年～平成29年）
	2-8	身体障害者手帳	東京都のHIV感染者・AIDS患者累積報告数と身体障害者手帳（免疫機能障害）交付数年次推移
P.13	2-9	性感染症検査	東京都内の保健所、東京都南新宿検査・相談室での性感染症検査件数と陽性件数（平成30年）
III 世界及び全国のHIV感染者・AIDS患者数			
P.14	世界のHIV/AIDS流行状況2018年末現在（UNAIDS/WHO）		
	日本のHIV感染者、AIDS患者累計数2018年末現在（厚生労働省）		

1. HIV感染者及びAIDS患者の発生動向

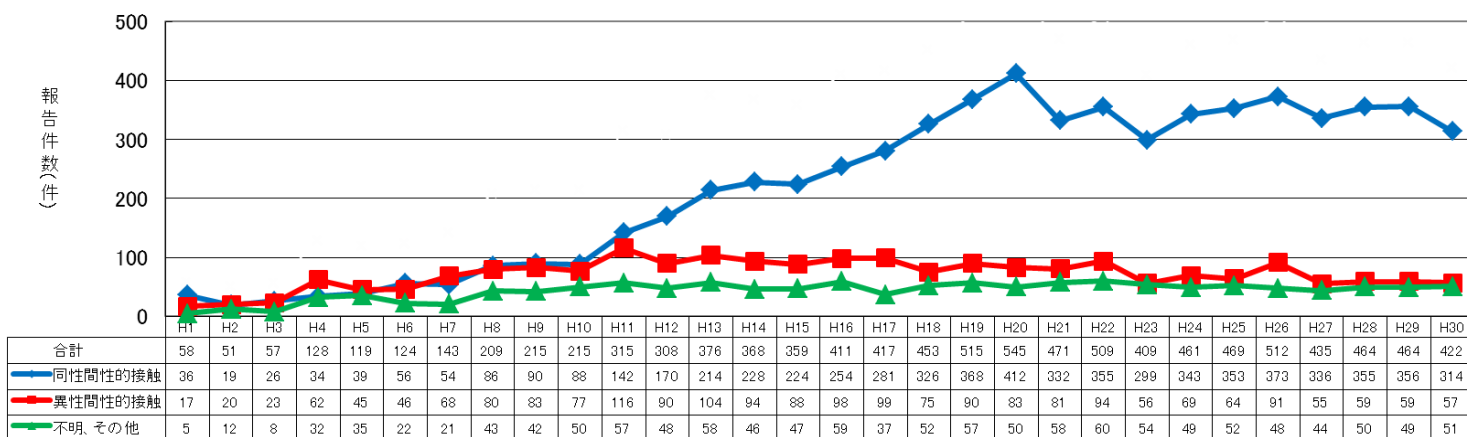
[HIV感染者とAIDS患者の総計 (HIV+AIDS)]

1-1 東京都と全国の報告数 年次推移



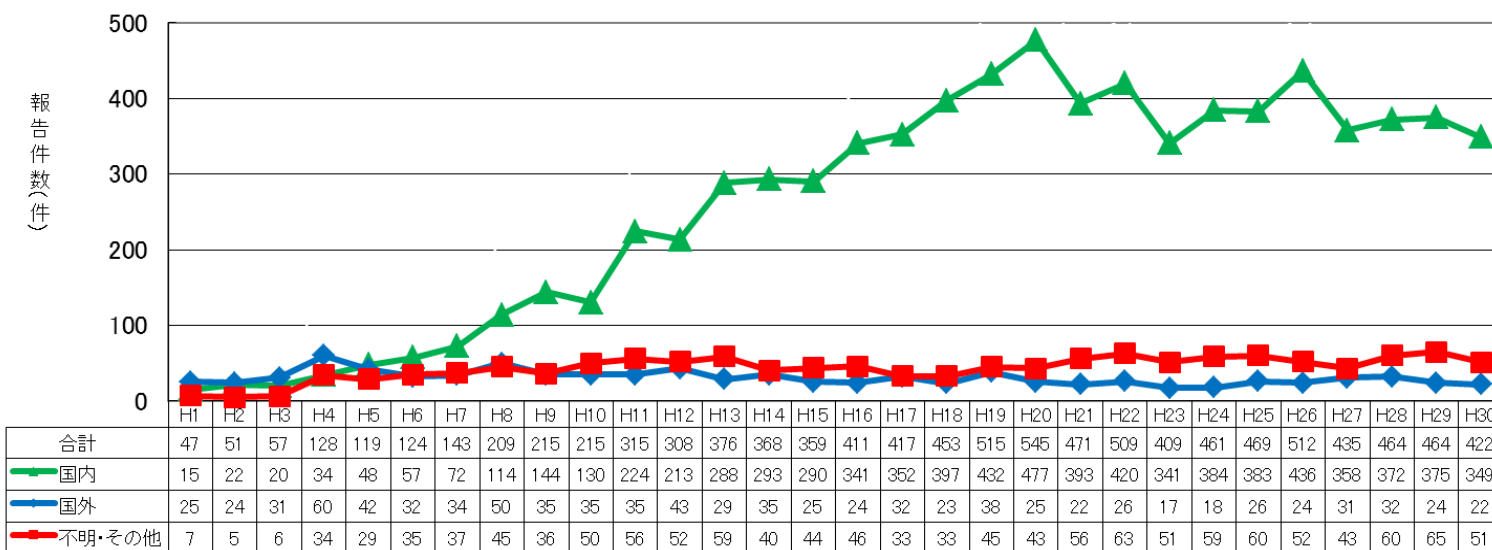
HIV感染者とAIDS患者をあわせた新規報告数は、東京都では前年より42件減少し422件、全国では前年より72件減少し1317件であった。

1-2 東京都の推定感染経路別報告数 年次推移



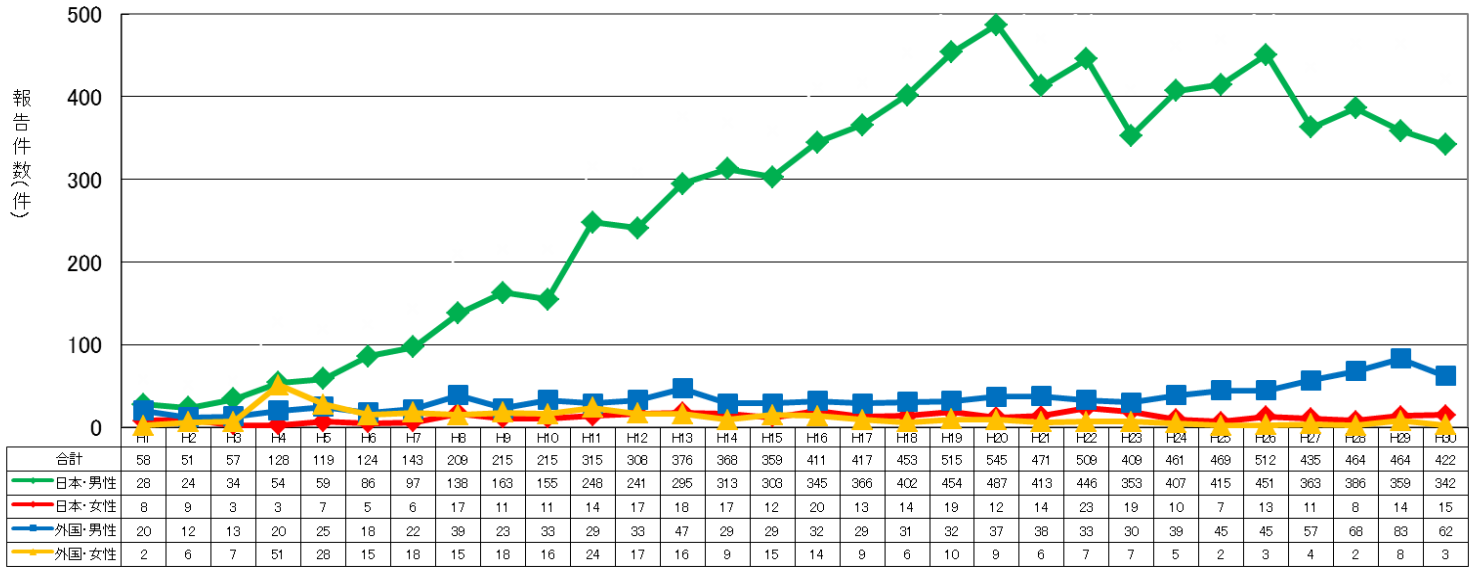
推定感染経路別では、同性間性的接触(両性間性的接触含む)による報告数は平成20年の412件をピークに、その後は300~350件程度で推移している。異性間性的接触は平成23年以降(平成26年の91件を除いて)、50件~60件程度で推移している。

1-3 東京都の推定感染地別報告数 年次推移



推定感染地別では、国内感染は前年より26件減少し349件(約83%)であり、国外感染は平成20年以降、20件~30件程度で推移している。

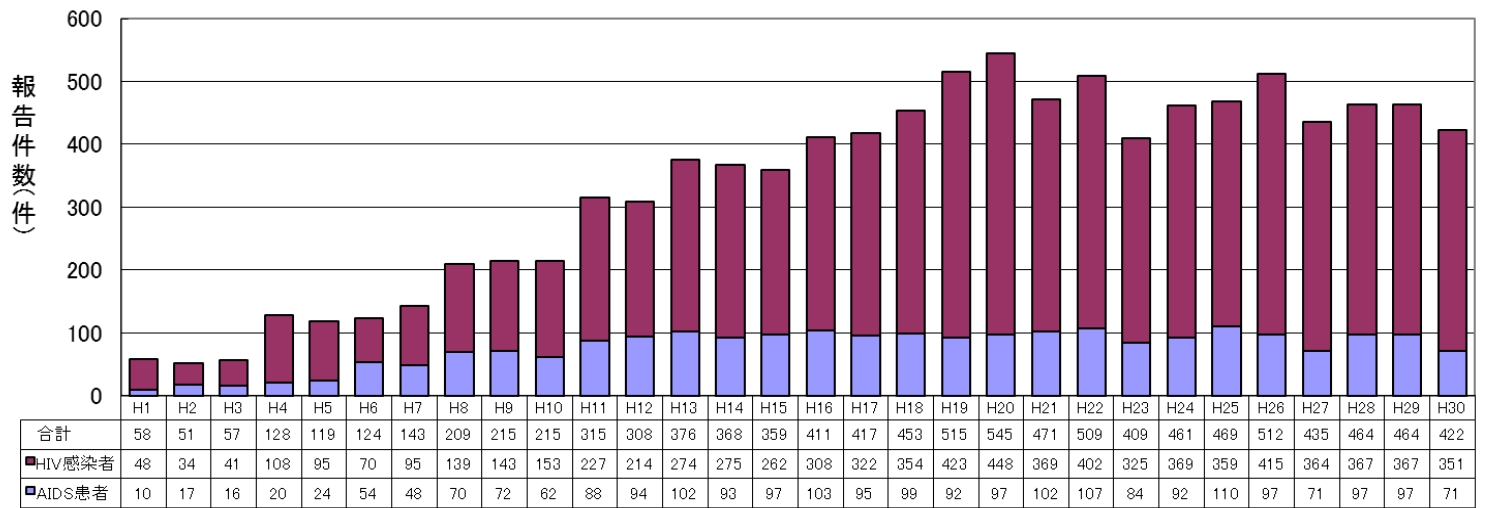
1-4
東京都の国籍別・性別報告数年次推移



国籍別および性別では、日本国籍男性の報告数は前年より17件減少し342件であった。外国国籍男性の報告数は前年より21件減少し62件であった。日本国籍女性及び外国籍女性の報告数に大きな変化はなく推移している。

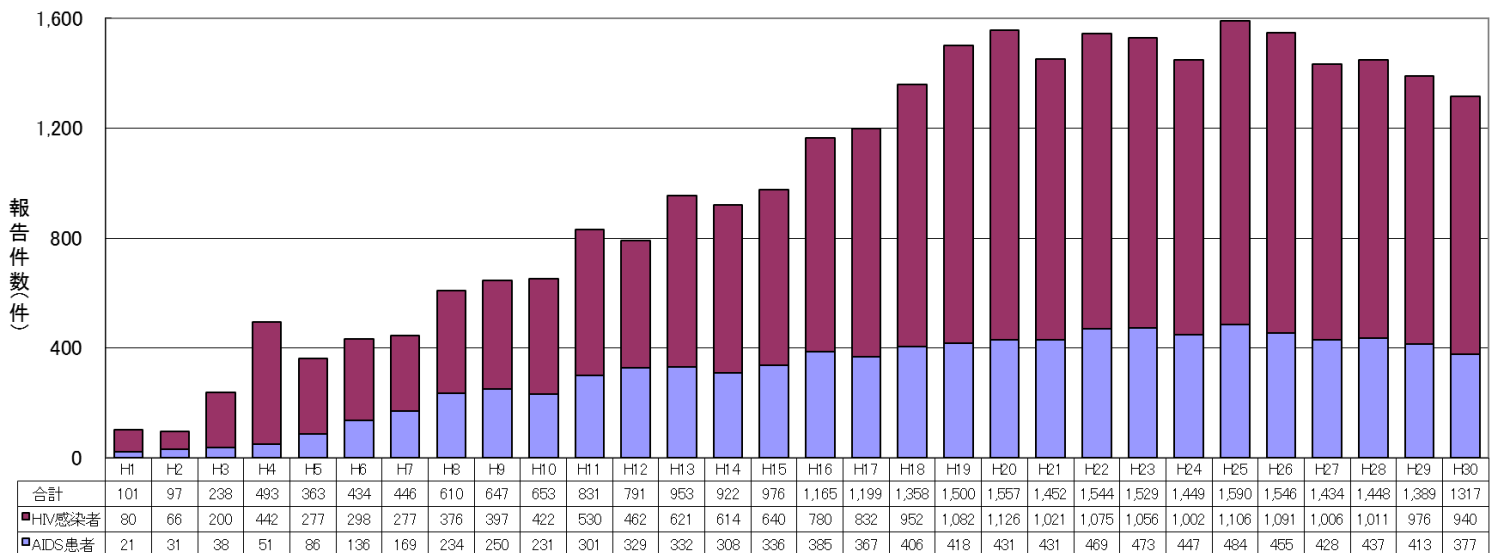
[HIV感染者とAIDS患者 (HIV/AIDS)]

1-5
東京都のHIV感染者とAIDS患者報告数年次推移



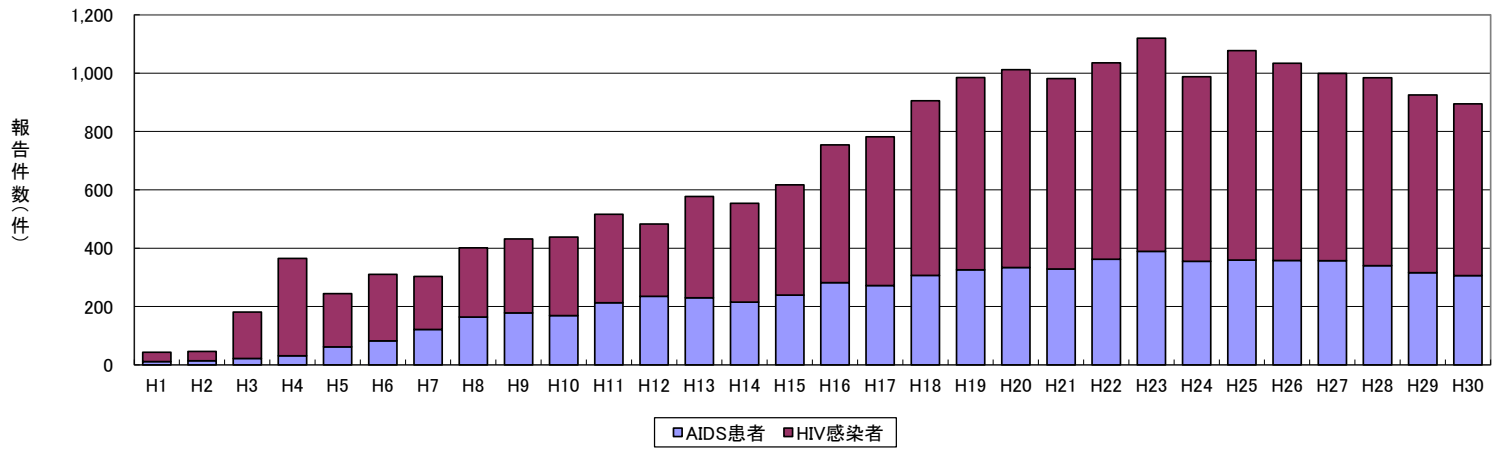
東京都におけるHIV感染者報告数は、前年より16件減少し351件であり、AIDS患者報告数は前年より26件減少し71件であった。

1-6
全国のHIV感染者とAIDS患者報告数年次推移



全国におけるHIV感染者報告数は、前年より36件減少し940件であった。AIDS患者報告数は前年より36件減少し377件であった。HIV感染者とAIDS患者をあわせた報告数の約30%がAIDS発症によりHIV感染が判明している。

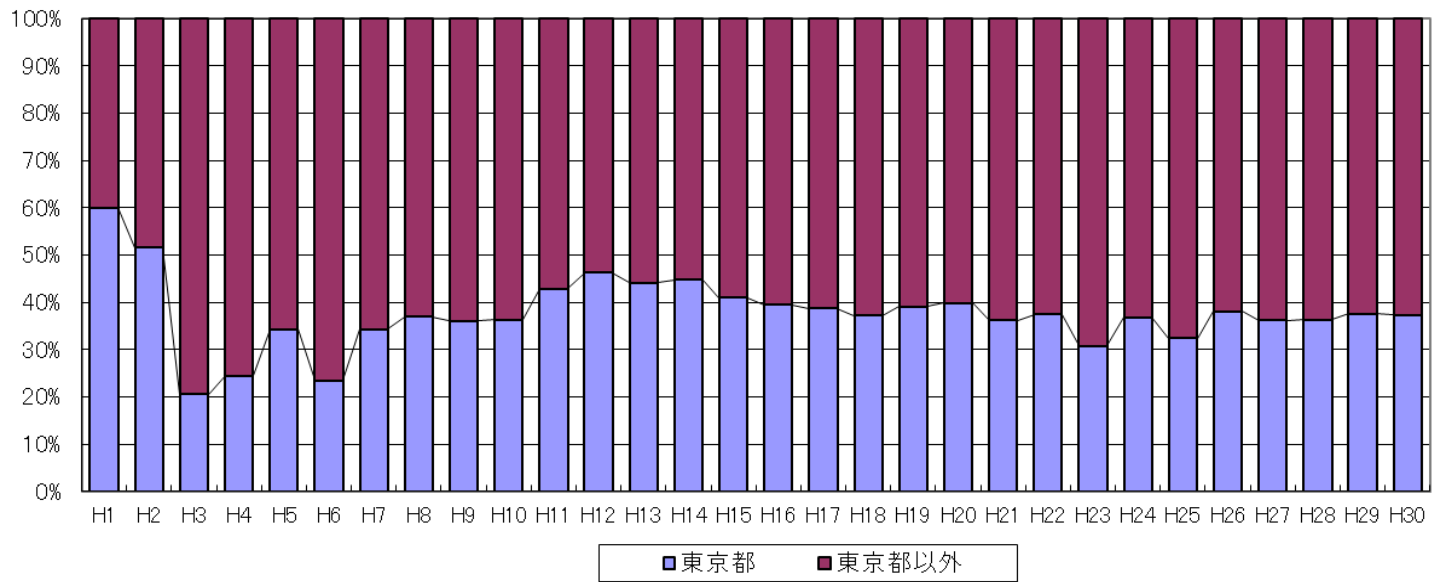
1-7
東京都以外の
HIV感染者とAIDS患者
報告数年次推移



東京都以外のHIV感染者報告数及びAIDS患者報告件数は、前年より減少した。

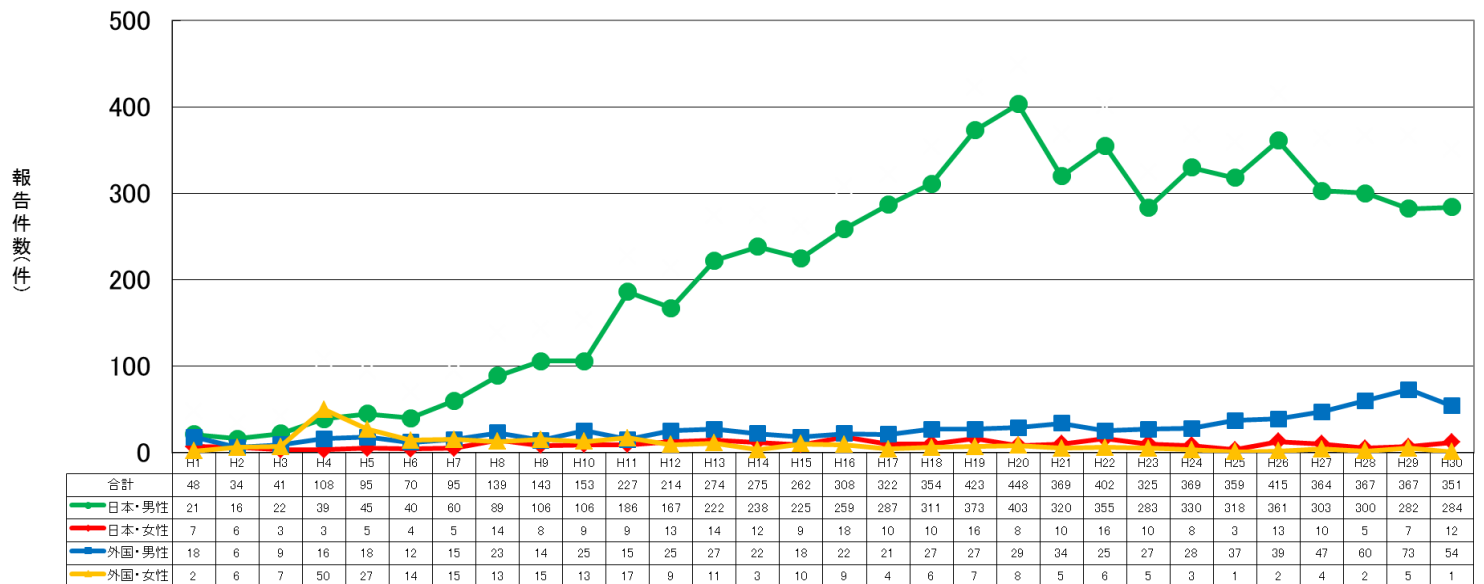
[HIV感染者 (HIV)]

1-8
全国に占める
東京都の
HIV感染者
報告数割合
年次推移



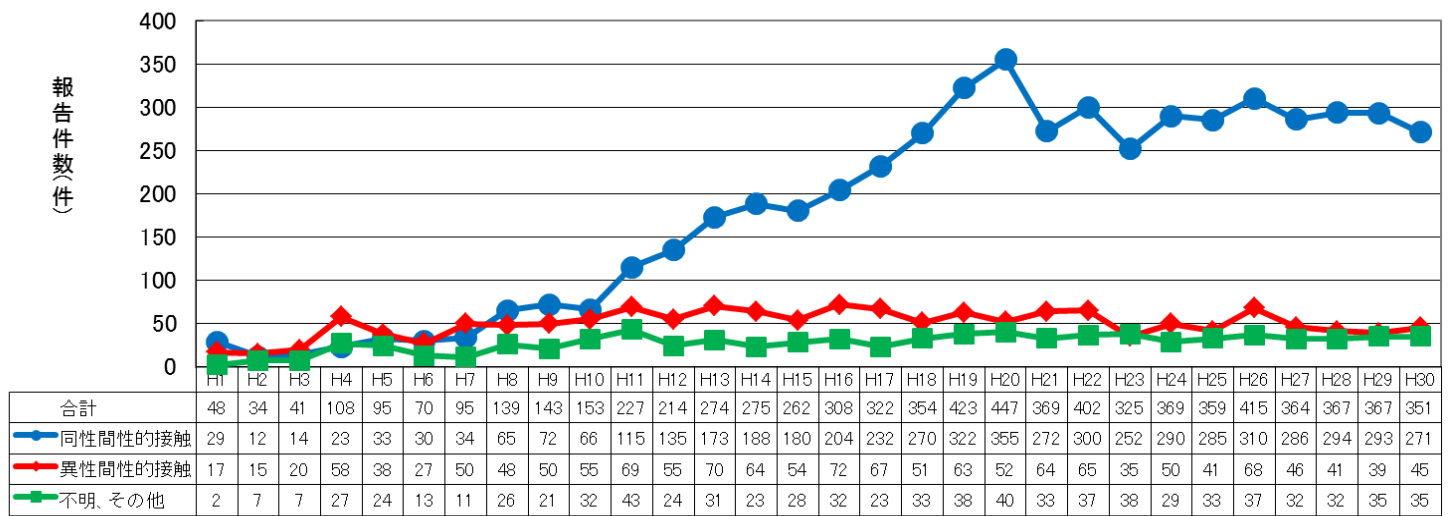
東京都のHIV感染者報告数は、平成27年以降、全国の報告数の約35%で推移している。

1-9
東京都の
HIV感染者の
国籍別・
性別報告数
年次推移



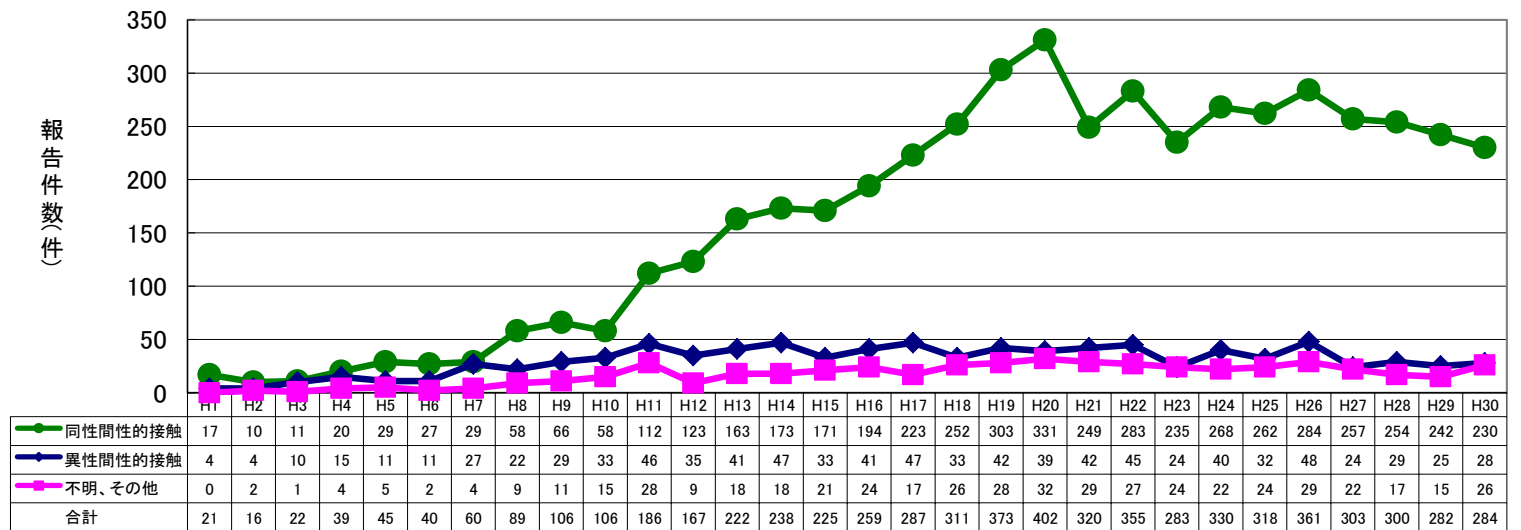
国籍及び性別では、日本人国籍男性の報告数は前年より2件増加し284件(81%)であった。外国籍男性の報告数は、前年より19件減少し54件(15%)であった。

1-10
東京都の
HIV感染者
の推定感染
経路別報告
数年次推移



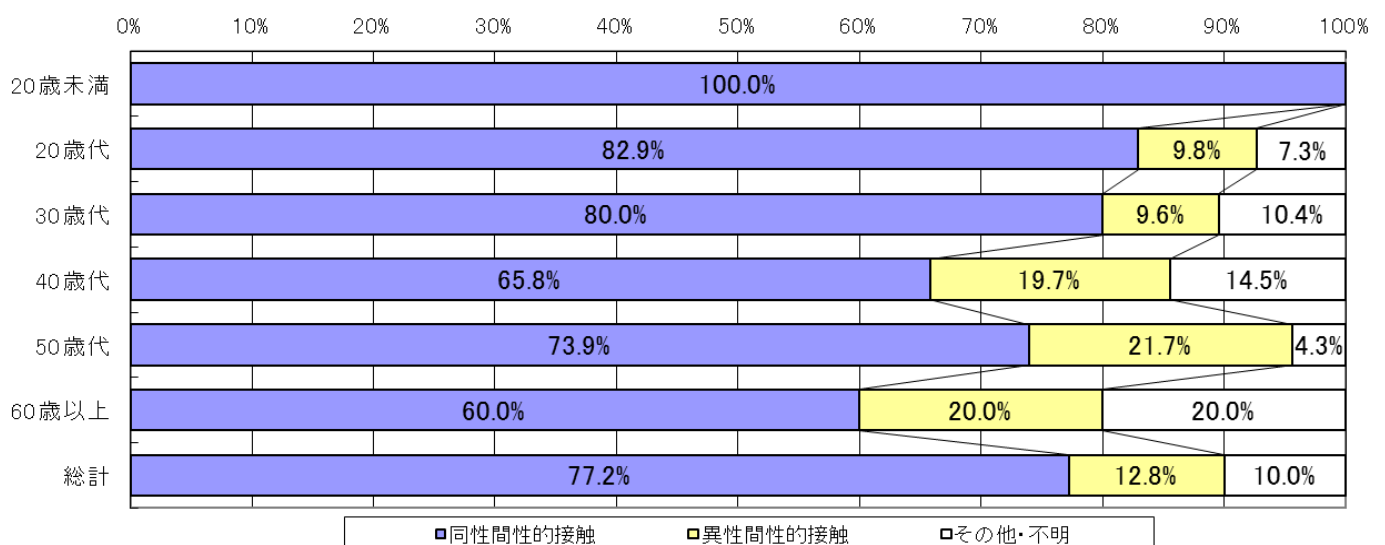
東京都のHIV感染者のうち、同性間性的接触(両性間性的接触含む)の報告数は平成20年の355件をピークに減少傾向であり、平成30年は271件であった。

1-11
東京都の日本国籍男性
における
HIV感染者
の推定感染
経路別報告
数年次推移



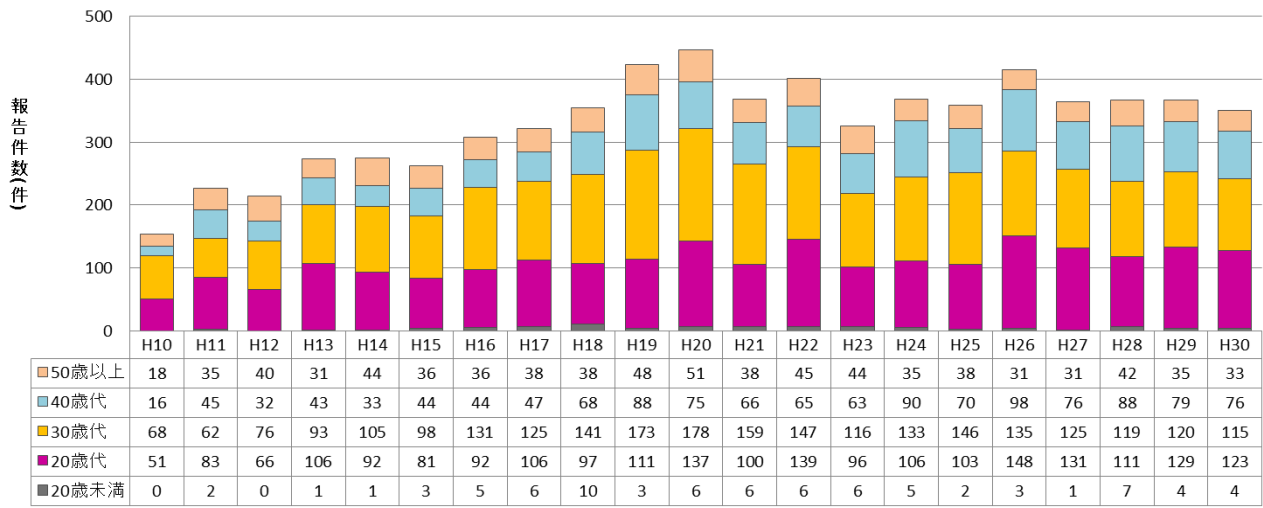
日本国籍男性におけるHIV感染者のうち感染経路別では、同性間性的接触(両性間性的接触含む)の報告は平成20年の331件をピークに、以降200件台で推移している。一方、異性間性的接触の報告数は平成7年以降は20件~40件台で推移している。

1-12
東京都のHIV
感染者の年齢別・推定
感染経路別
報告割合
(平成30年)



東京都のHIV感染者のうち感染経路別では、同性間性的接触(両性間性的接触含む)の割合は20歳未満で100%、20歳~30歳代では約80%、40歳代以上の年齢層では70%前後を占めている。

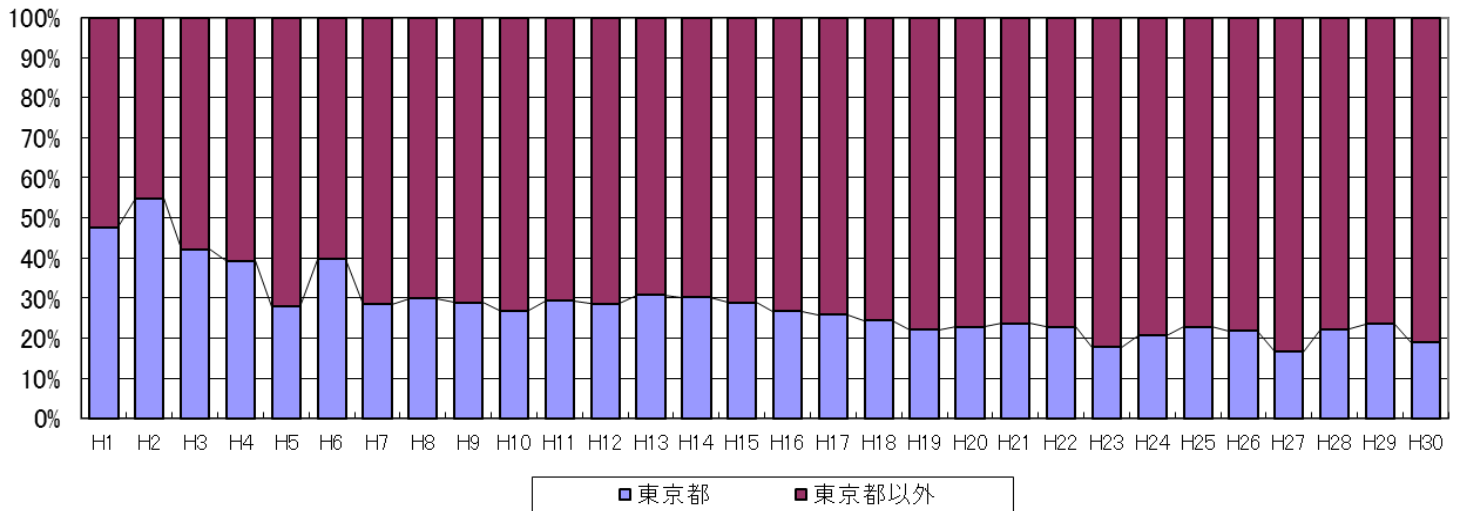
1-13
東京都の
HIV感染者
の年齢別報
告数年次推
移



東京都のHIV感染者のうち年齢階級別では、20歳代及び30歳代の報告数が多い。平成30年は前年に比べ、20歳未満を除く全年齢層で報告数が減少した。

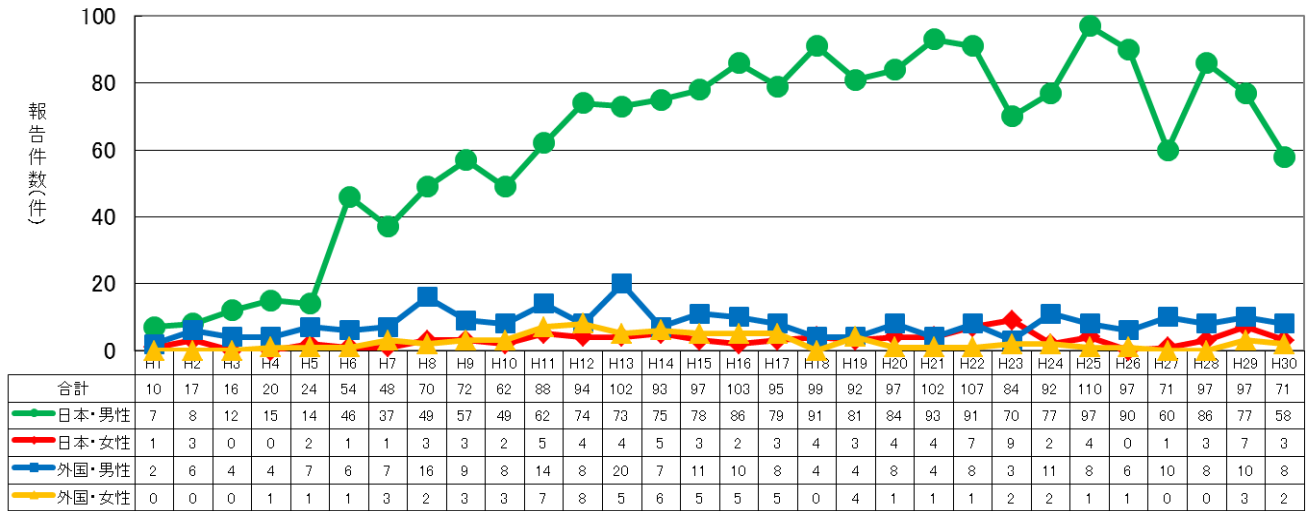
[AIDS患者 (AIDS)]

1-14
全国に占め
る東京都の
AIDS患者報
告数割合年
次推移



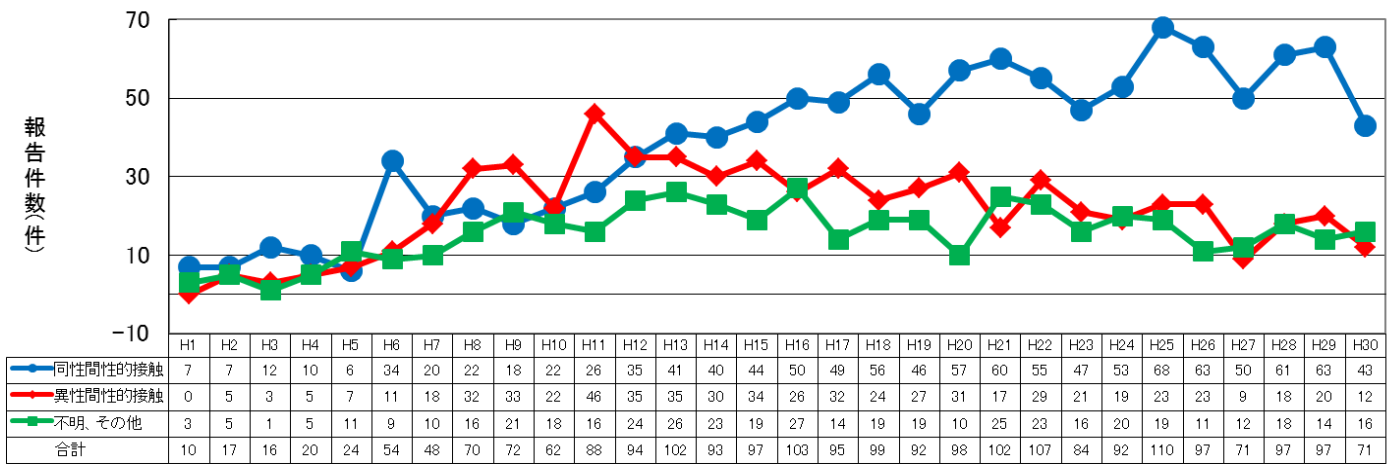
東京都のAIDS患者報告数は、近年、全国の報告数の約20%で推移している。

1-15
東京都の
AIDS患者の
国籍別・性
別報告数年
次推移



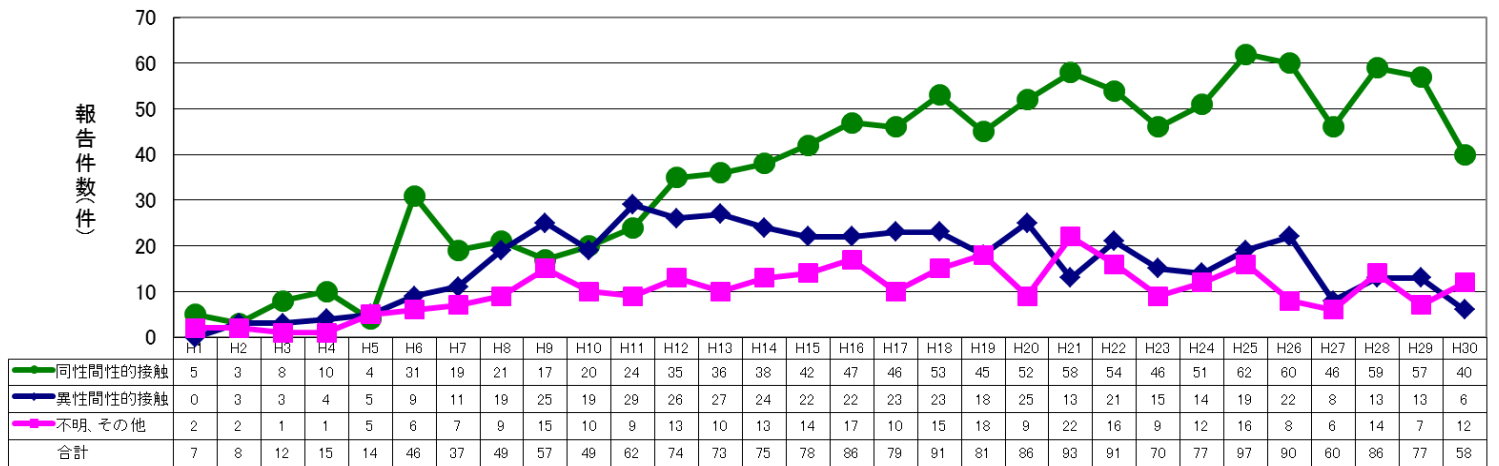
東京都のAIDS患者報告数のうち国籍及び性別では、日本国籍男性は前年より19件減少し58件、日本国籍女性は前年より4件減少し3件であった。外国籍男性は前年より2件減少し8件、外国籍女性は前年より1件減少し2件であった。

1-16
東京都の
AIDS患者の
推定感染経
路別報告数
年次推移



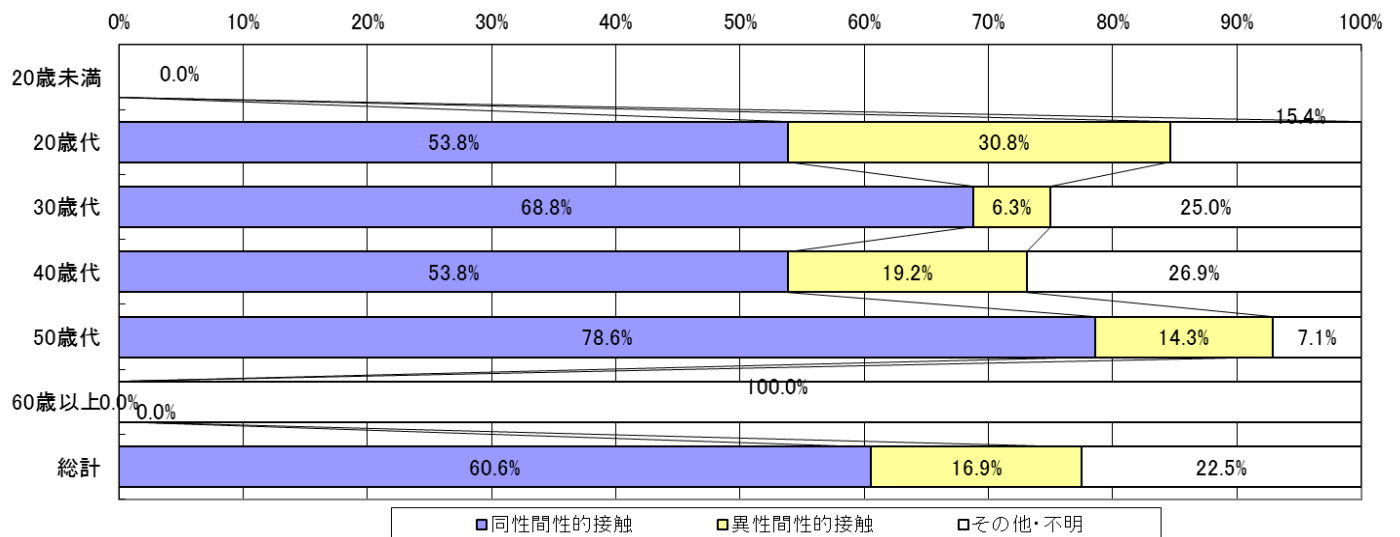
東京都のAIDS患者報告数のうち推定感染経路別では、同性間性的接触(両性間性的接触含む)の報告数は前年より20件減少し43件であった。異性間性的接触の報告数は前年より8件減少し12件であった。

1-17
東京都の日
本国籍男性
における
AIDS患者の
推定感染経
路別報告数
年次推移



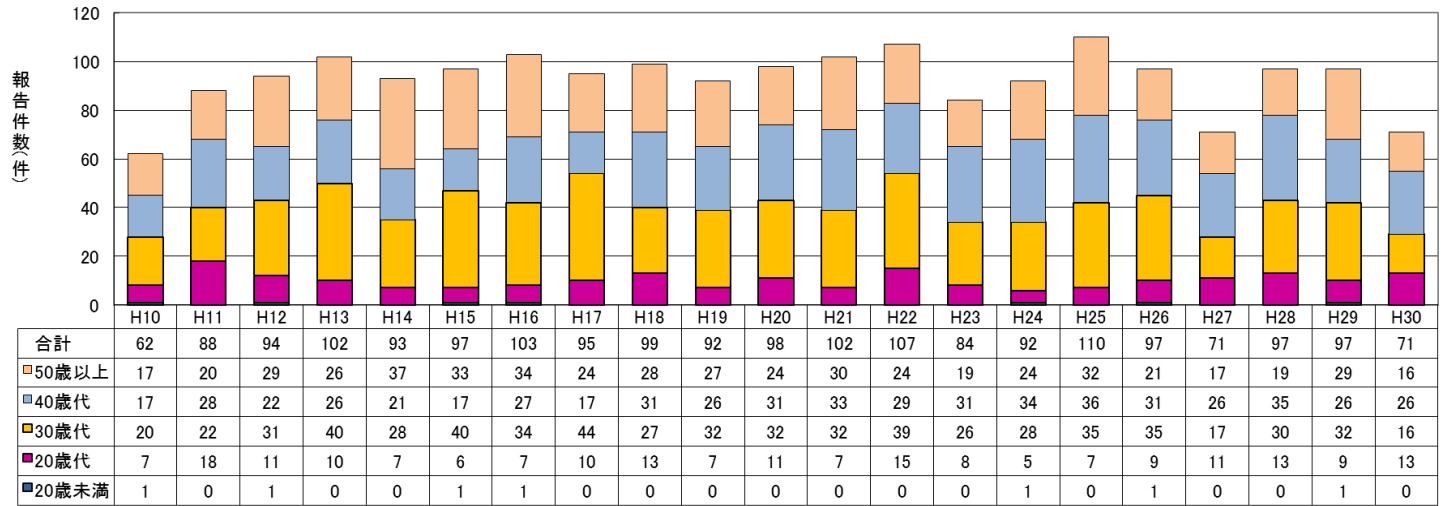
東京都の日本国籍男性におけるAIDS患者の報告のうち推定感染経路別では、同性間性的接触(両性間性的接触含む)の報告数は前年より17件減少し40件であった。

1-18
東京都の
AIDS患者の
年齢別・推
定感染経路
別報告割合
(平成30年)



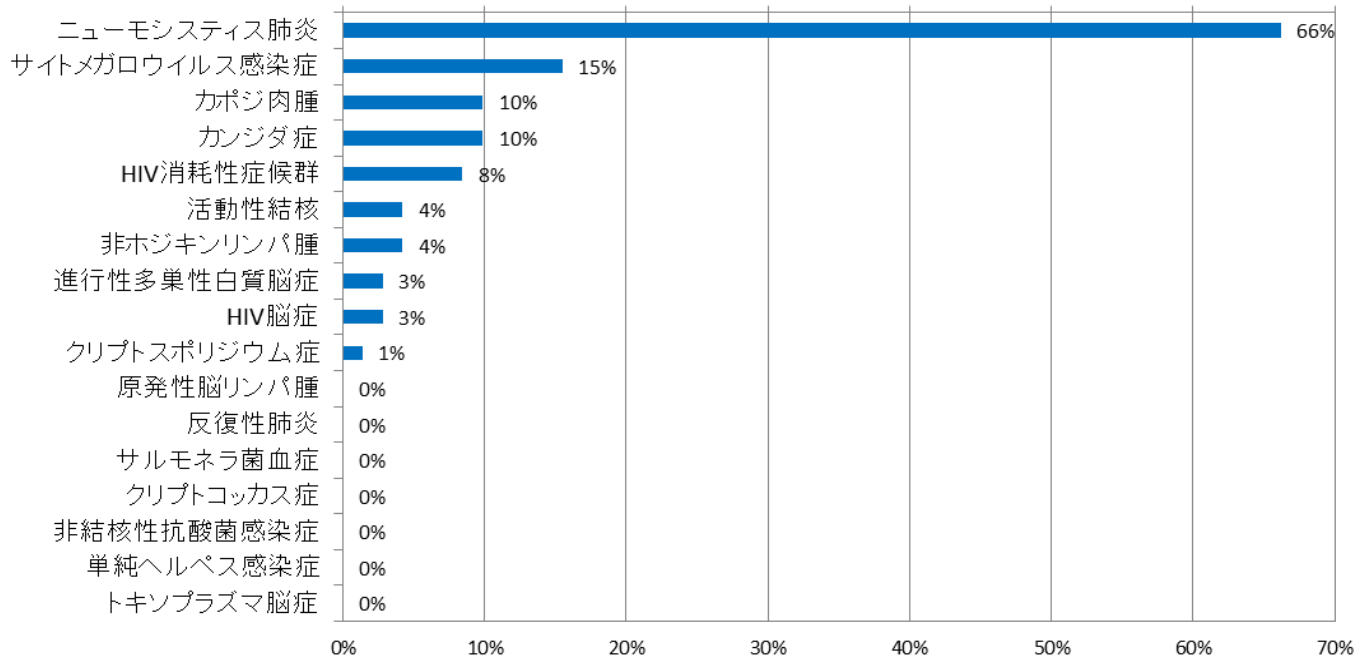
東京都のAIDS患者の報告のうち推定感染経路別では、性的接触と報告があった全ての年代において、異性間性的接触よりも同性間性的接触(両性間性的接触含む)の割合が多かった。

1-19
東京都の
AIDS患者の
年齢別報告
数年次推移



東京都のAIDS患者の報告のうち年齢階級別では、平成30年は40歳代(37%)、30歳代(23%)、50歳以上(23%)、20歳代(18%)、20歳未満の順に報告数が多かった。

1-20
東京都の
AIDS指標疾
患
(平成30年)
* 複数回答

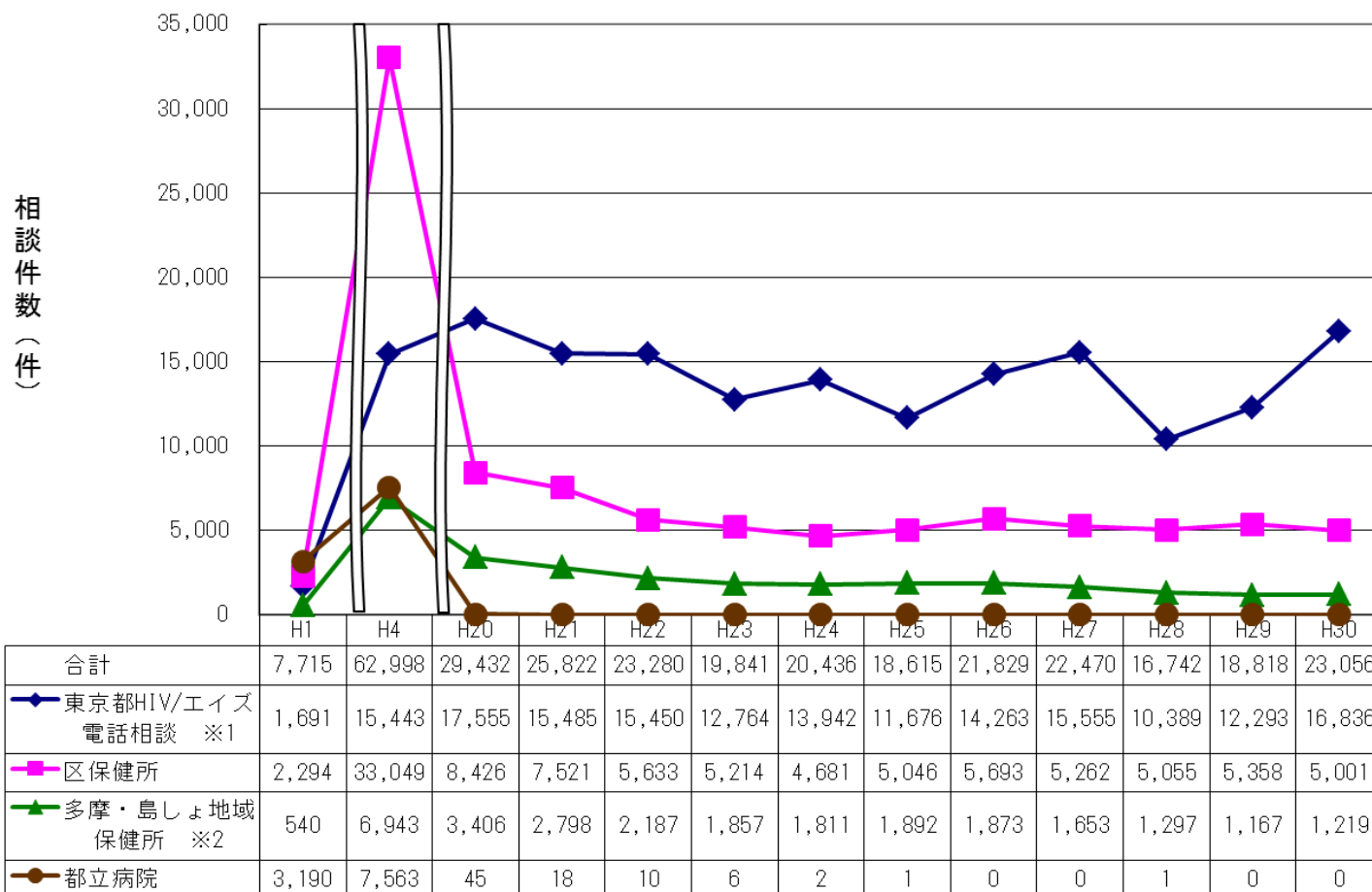


東京都のAIDS患者の報告のうち、66%がニューモシスティス肺炎の発症を契機にAIDSと診断された。次いでサイトメガロウイルス感染症(15%)、カポジ肉腫(10%)、カンジダ症(10%)、HIV消耗性症候群(8%)の順に多く報告された。

2. 相談・検査・療養体制

[HIV/エイズ電話相談]

2-1
東京都HIV/
エイズ電話
相談件数年
次推移

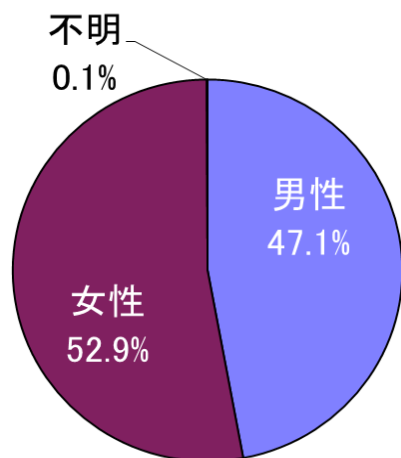


※1 平成10年以前の「東京都エイズ電話相談」件数には、エイズ対策係で実施していた電話相談の件数を含む。
 ※2 八王子市(平成19年4月より)、町田市(平成23年4月より)は、保健所政令市となり各市設置の保健所になっているが、経年比較のため、多摩・島しょ地域保健所に含めて計上している。

エイズ電話相談は、エイズが大きな社会問題となった平成4年に一時的に急増した後減少し、その後は横ばいの状況が続いていた。平成20年以降にやや減少した後、平成27年までは2万件前後で横ばいの状況が続いていた。平成28年に平成4年以降過去最低の件数に落ち込んだが、以降相談件数は増加し、平成30年は23,056件と前年より22.5%増加した。

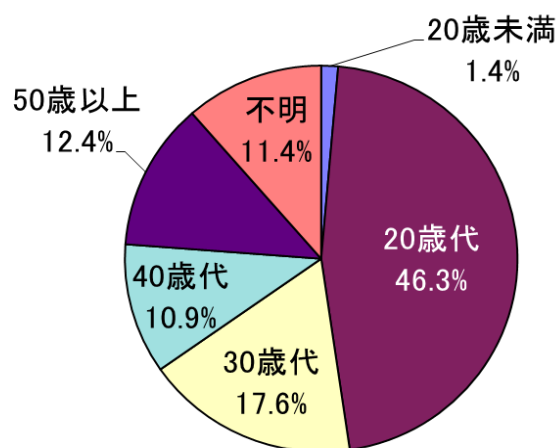
2-2
「東京都
HIV/エイズ
電話相談」
における相
談者の性別
(平成30年)

<2-2>



2-3
「東京都
HIV/エイズ
電話相談」
における相
談者の年齢
(平成30年)

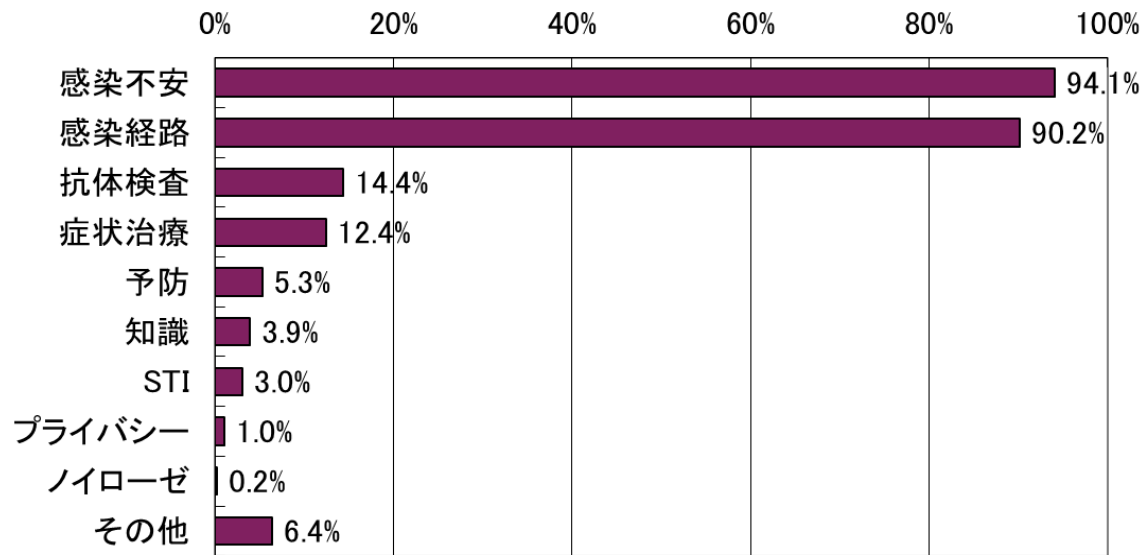
<2-3>



性別割合では、男性47.1%、女性52.9%。前年より女性の割合が増加した。
 年齢別では、20歳代が多く、30歳代以下の相談者が60%以上を占めている。前年より30歳代以下の相談者の全体に占める割合は増加し、40歳代、50歳代の割合が減少した。

2-4
「東京都
HIV/エイズ
電話相談」
の相談内容
(平成30年)

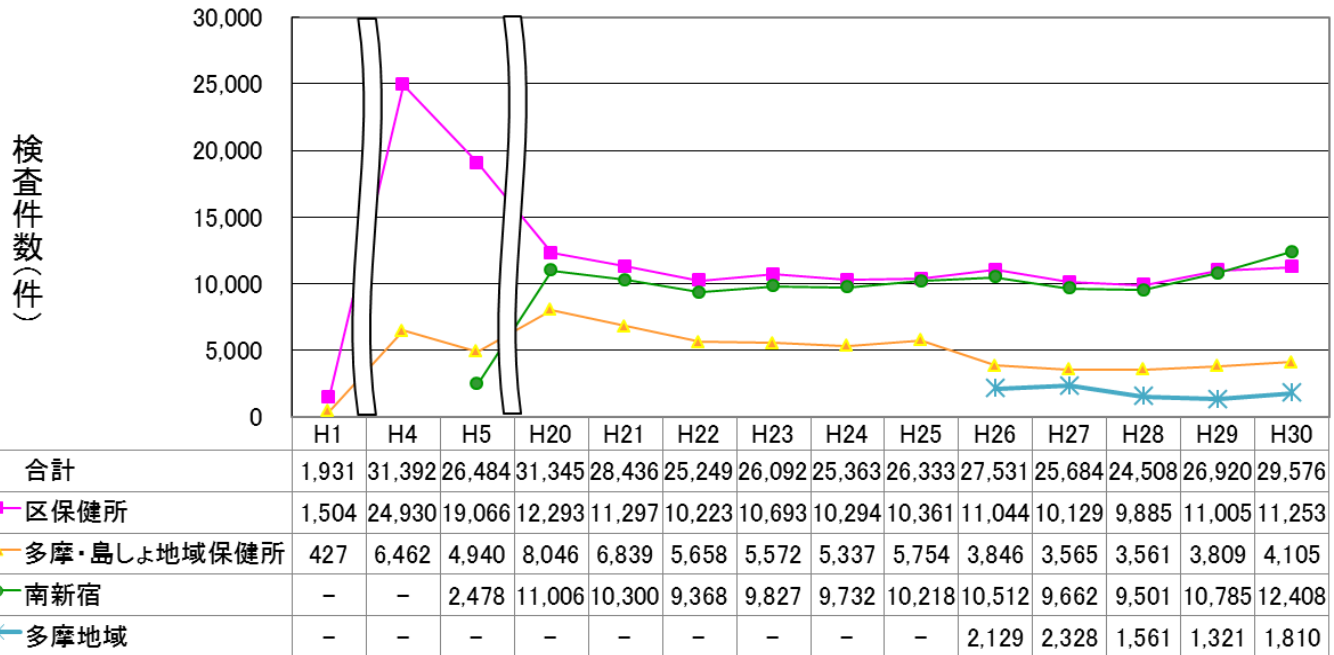
* 複数回答



東京都HIV/エイズ電話相談の相談内容は、感染不安と感染経路が突出して多い状況は、ここ数年変わっていない。平成30年4月以降、分類項目から「ノイローゼ」をはずし、新たに「STI」を加えた。なお、1回の電話で相談内容が多岐にわたることもあるため、複数回答で計上している。

[HIV検査]

2-5
東京都の
HIV検査件
数年次推移



※平成25年までは多摩地域検査・相談室を多摩・島しょ地域保健所に合算、平成26年から別掲とした。

東京都のHIV検査件数は、エイズが大きな社会問題となった平成4年に一時的に急増した後に減少し、平成22年から平成29年度までは約26,000件程度で横ばいで推移していた。平成30年は前年より約2,500件(約10%)増加し、29,576件となった。なお、平成30年4月から梅毒の検査も同時に実施している。

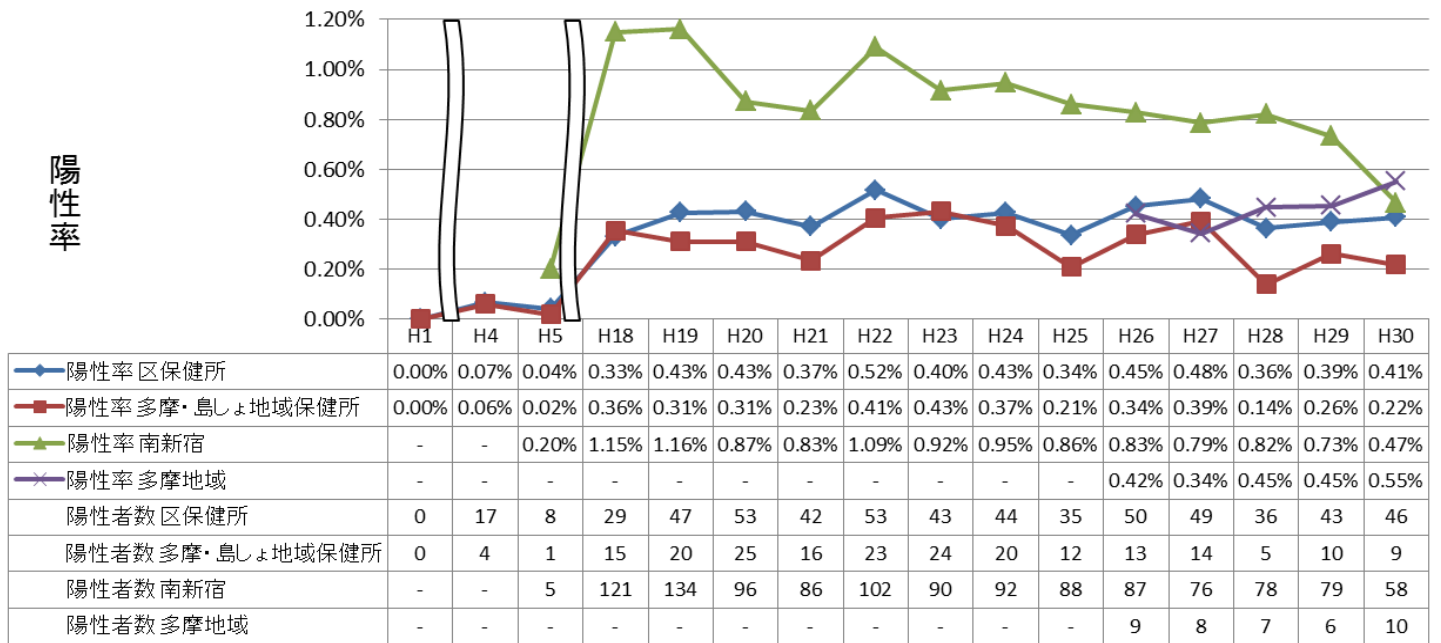
区保健所では、平成22年以降10,000件前後で推移していた。平成29年、平成30年ともに11,000件を上回っている。

多摩・島しょ地域保健所は、平成30年は前年より増加し、4,000件台となった。なお、平成25年までは多摩地域検査・相談室を合算、平成26年から別掲とした。

南新宿検査・相談室の検査件数は、平成21年以降10,000件前後で推移していた。平成30年は12,000件を上回っている。

多摩地域検査・相談室の検査件数は、会場である多摩立川保健所の仮庁舎移転の影響もあり、平成28年、平成29年ともに減少したが、平成30年は増加した。

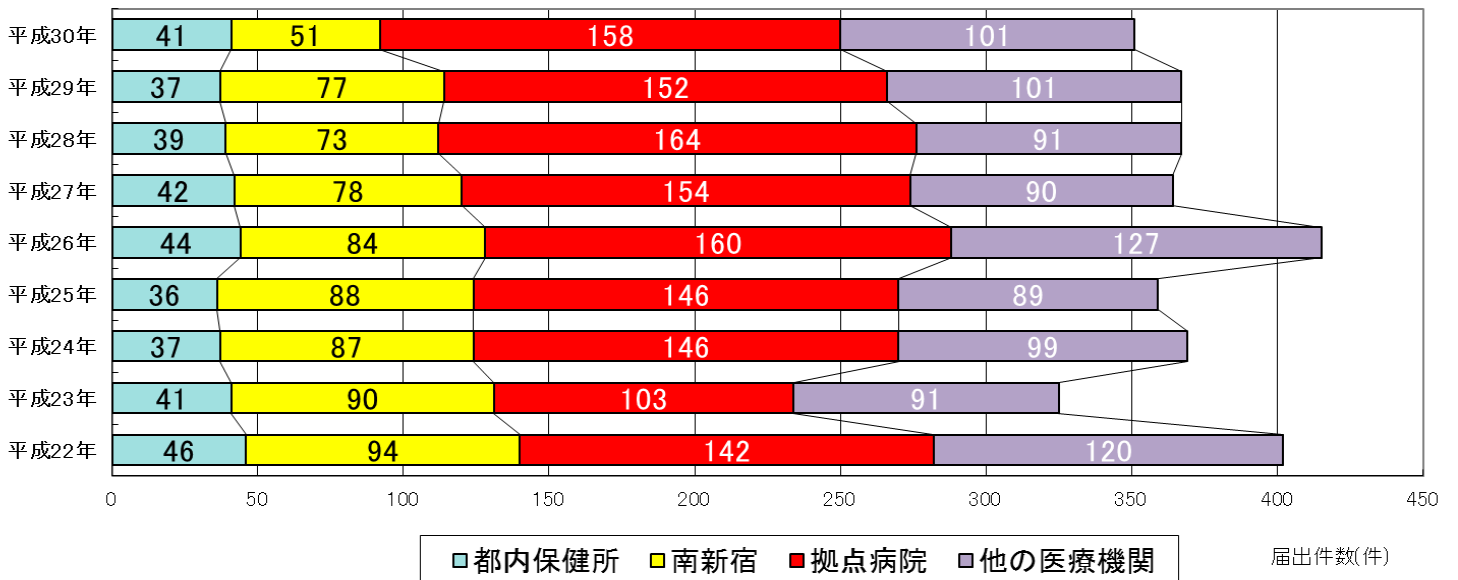
2-6
東京都の
HIV検査に
おける陽性
件数・陽性
率年次推移



平成30年は、区保健所、多摩地域検査・相談室では陽性件数は前年より増加し、陽性率も高くなった。
多摩・島しょ地域保健所、南新宿検査・相談室では、陽性件数は前年より減少し、陽性率も低下した。

[医療機関]

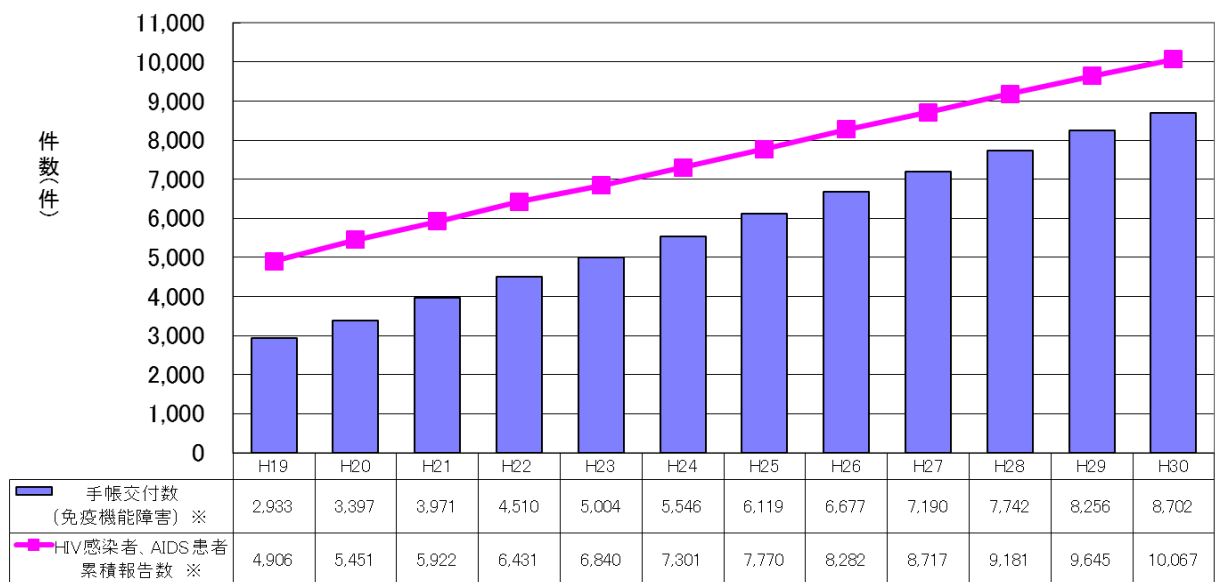
2-7
東京都の
HIV感染者
報告の届出
別割合
(平成22年
～平成30
年)



平成30年は、南新宿検査・相談室からの届出件数は減少した。

[身体障害者手帳]

2-8
東京都の
HIV感染者、
AIDS患者累
積報告数と
身体障害者
手帳(免疫
機能障害)
交付数年次
推移



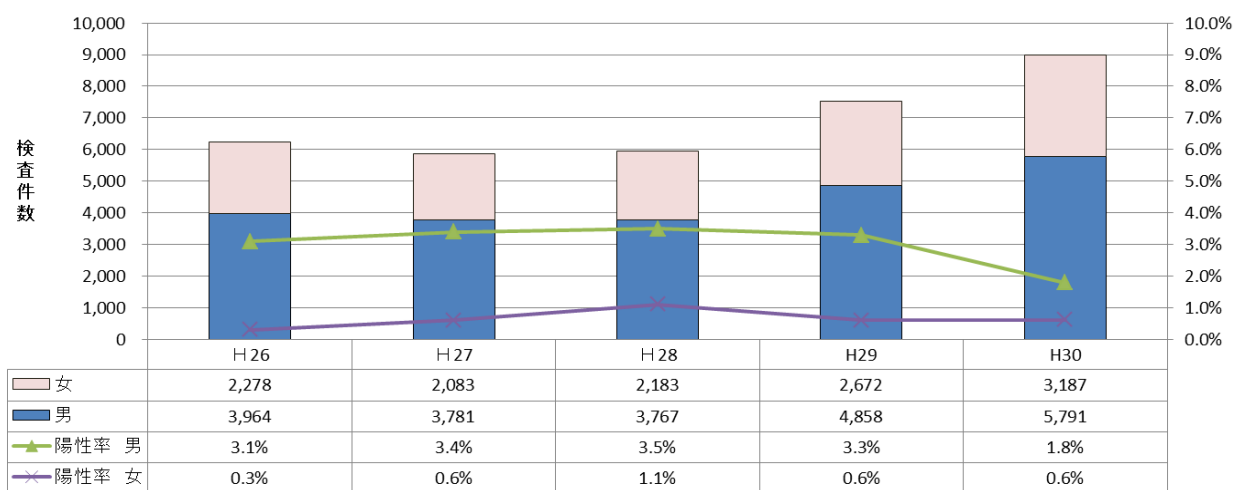
※各年の12月末時点での数値

HIV感染者、AIDS患者の累積報告数の増加とともに、身体障害者手帳(免疫機能障害)の交付数も年々増加している。平成30年は、免疫機能障害による身体障害者手帳交付台帳登録は前年より446件増加した。

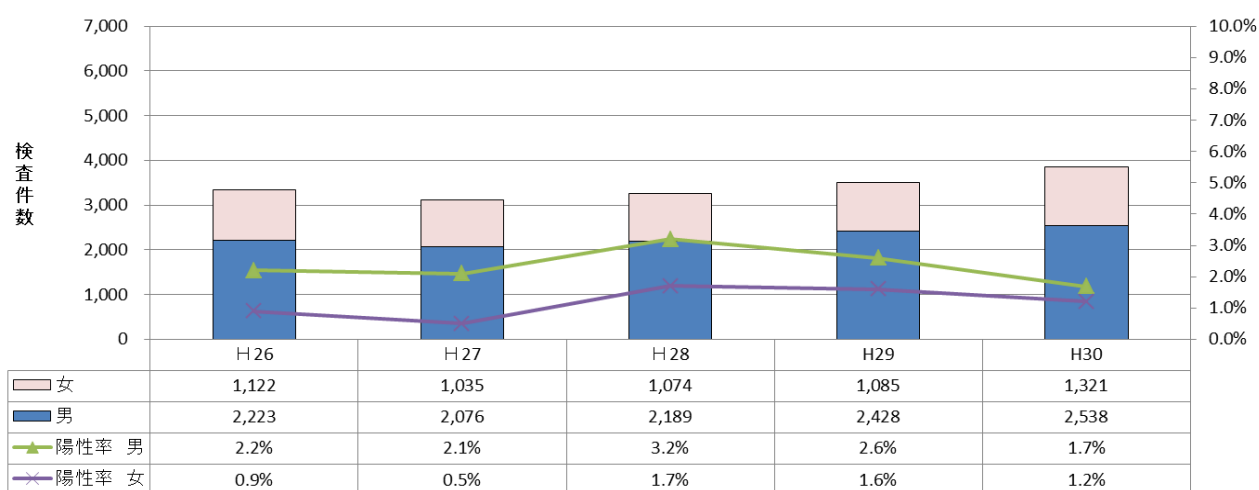
[性感染症検査]

2-9
東京都の梅毒検査における検査件数と陽性率の年次推移

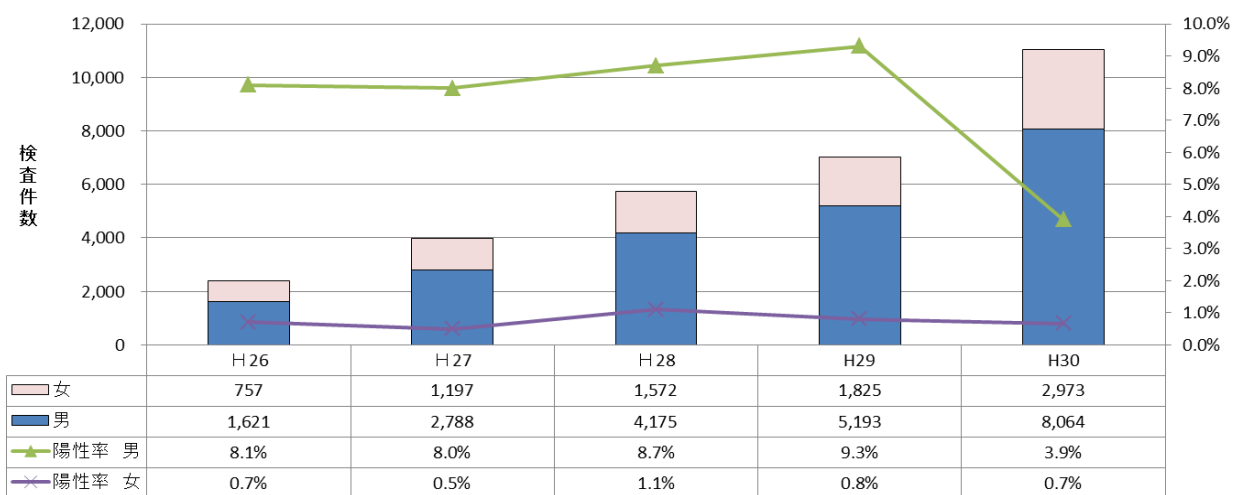
[区保健所]



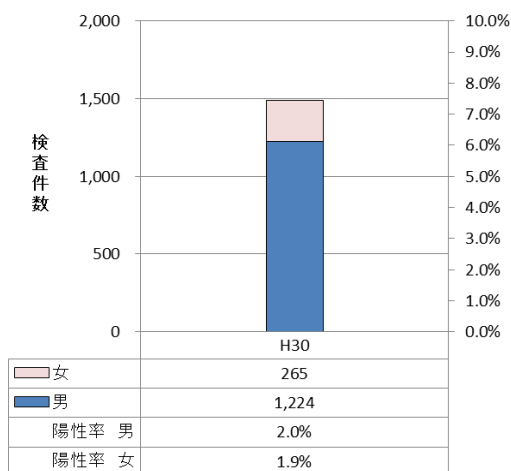
[多摩・島しょ地域保健所]



[南新宿検査・相談室]



[多摩地域検査・相談室]



梅毒検査:平成30年4月より多摩地域検査・相談室ではHIV即日検査実施時に梅毒検査を開始した。
区保健所、多摩地域保健所、南新宿検査・相談室においては検査件数は前年より増加した。
陽性率は、区保健所で検査を受けた女性は変化はなかったが、それ以外は低かった。

3. 世界及び全国のHIV感染者・AIDS患者数

○世界のHIV/AIDS流行状況 2018年末現在 (UNAIDS/WHO)

○日本のHIV感染者、AIDS患者累計数2018年末現在(厚生労働省)

HIV 感染者数(推計値)

3,790万人(3,270万-4,400万人)

HIV感染者報告の累計数

20,836人

2018年における新規HIV 感染者数 (推計値)

170万人(140万-230万人)

AIDS患者報告の累計数

9,313人

2018年におけるAIDS による死亡者数 (推計値)

77万人(57万人-110万人)

実際の数値は推計値の右側 () 内に記載された数値の範囲内に存在する。
これらの数値は入手可能な最良のデータを基にして算出されている。

★東京都南新宿検査・相談室 HIV通常検査・梅毒通常検査 (匿名・無料、電話又は携帯からの予約制)

ホームページ <http://www.tmsks.jp>

【予約検査】

予約受付番号 03-3377-0811

予約受付時間 月～金(祝日を除く)：午後3時30分から午後7時まで
土・日(祝日を除く)：午後1時から午後4時30分まで

※聴覚障害者の方のみ、ファクシミリでの予約申込みができます。

ファクシミリ 03-3377-0821 (予約受付時間は上記と同じ)

★東京都多摩地域検査・相談室 HIV即日検査・梅毒即日検査 (匿名・無料、予約制及び先着順)

【予約検査】

予約受付番号 080-2022-3667

予約受付時間 月～金(祝日を除く)：午前10時から午後4時まで

検査受付時間 土曜日(祝日を除く)：午前10時

【先着順検査】

検査受付時間 土曜日(祝日を除く)：午後1時から午後3時まで

問い合わせ先 090-2537-2906 (日・祝・年末年始除く午前9時30分から午後5時まで)

★東京都HIV/エイズ電話相談 電話 03-3292-9090

(月～金：午前9時から午後9時まで、土・日・祝日：午後2時から午後5時まで)

※HIV/エイズに関する相談・検査(匿名・無料)は各保健所へ(一部性感染症検査も同時に可)

【発行】東京都福祉保健局健康安全部感染症対策課エイズ対策担当

郵便番号163-8001 新宿区西新宿二丁目8番1号

電話 03-5320-4487 ファクシミリ 03-5388-1432 e-mail S0000312@section.metro.tokyo.jp